

平成18年度森林環境基金事業の進捗状況について

森林林業領域 H19. 3. 15現在

I 森林環境の適正な保全

1 森林整備事業

事業概要

手入れが行われず荒廃が懸念される公益的機能の高い水源地域の森林について、事前調査及び間伐等の森林整備を実施する

森林整備 710ha 事業費 235,087千円

○進捗状況

実績は、当初計画の651haを上回る710ha（当初比 109%）を見込んでいる。

区分	水源区域		特に緊急に整備すべき森林		備考
	区域数	私有林面積	(H18-22)	H18 実績見込	
県計	348	163,922	9,000	710	単位：ha
県北	20	16,032	640	47	
県中	35	45,242	2,470	202	
県南	40	28,443	1,380	106	
会津	146	21,991	1,270	112	
南会津	67	3,841	190	21	
相双	27	23,716	1,220	90	
いわき	13	24,657	1,830	132	

2 森林環境適正管理事業

事業概要

森林情報の共有化を図るため、森林GISシステムを構築するとともに、環境に配慮した森林管理を行う森林認証制度を普及啓発する

森林情報(GIS)活用推進事業 事業費 78,475千円

森林認証普及啓発事業 985千円

○進捗状況

- ・システム開発を実施するにあたり検討委員会を設置し、システム構成及び仕様書を検討のうえ公募型プロポーザルを実施し、10月20日の検討委員会の審査によって最優秀提案者を決定した。11月22日に最優秀提案者との業務委託契約を終え、現在、基本設計業務及びデータ整備業務を行っている。
- ・森林認証普及啓発事業については、2月8日に森林づくりシンポジウム（参加者110名）を開催し、現在、講演集を作成中。

II 森林資源の利用促進

3 間伐材搬出支援事業

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備及び原木市場等への間伐材の運搬を支援する

間伐材運搬経費支援事業	16,777m ³	事業費	20,133千円	(1,200円/m ³)
林内作業路整備支援事業	12,000m		6,000千円	(500円/m)

○進捗状況

- ・各公所要望に基づき6月30日以内示。(各公所への予算配分月日7月24日)
- ・補助金交付申請期限が、11月20日(第2期)と3月10日(第3期)であり、第2期実績は4,818m³、第3期申請実績が11,959m³、作業路12,000m。
支出見込み、26,133千円(期別内訳 第2期 5,782千円 第3期 20,351千円)

4 間伐材利用促進事業

事業概要

間伐材の利用促進を図るため、県有施設の内装や外構施設に間伐材を率先して利用するとともに、県有施設にペレットストーブを導入する

県有施設の間伐材利活用推進事業	4,885千円
間伐材利用拡大モデル展示事業	1,665千円
ペレットストーブ利用推進事業	2,935千円 導入台数 10台

○進捗状況

- ・県有施設の間伐材利活用推進事業(太陽の国さつき荘内装)は、工事完成。
特別養護老人ホームの入口・談話室・通路等の木質化を実施。
- ・間伐材利用拡大モデル展示事業完了、農業総合センター常設展示、移動タイプは林業研究センターに展示し県内全域貸出利用。
- ・ペレットストーブ利用推進事業は、県民ホール、県民ルーム、農業総合センターなどに10台設置済み。

III 県民参画の推進

5 森林環境学習推進事業

事業概要

県民を対象として、各流域の特色を活かした森林環境ゼミナールを開催するとともに、森林環境学習に必要なフィールドの整備や森林ボランティア活動で活用されるフィールドの設定を行う

森林環境ゼミナール開催事業	2,774千円
森林環境学習の森整備事業	6,937千円
森林環境学習の森整備	(2,614)
森林ボランティア活動フィールドの設定	(4,323)

○進捗状況

- ・森林環境ゼミナール開催事業の開催内容と参加者は次のとおり。

会津流域	9月9日(猪苗代町)	100名
阿武隈川流域	10月29日(矢吹町)	130名
奥久慈流域	10月28日(棚倉町)	100名
磐城流域	10月28日(川内村)	160名
計		490名参加

- ・森林環境の森整備箇所は翁島県有林(会津)、沼尻県有林(会津)の2カ所を選定し実施中。3月20日工期だが現場は既に完成。
- ・森林ボランティア活動フィールドの設定については、県内14箇所のフィールドについての林況と施業計画を盛り込んだ報告書が完成。ボランティアセンターに提供して今後活用していく。

6 森林ボランティア総合対策事業

事業概要

森林づくり活動の広報、森林ボランティアに関する情報収集・提供、相談窓口業務等を行う森林ボランティアセンターを設置するとともに、森林づくりを先導する事業やボランティア団体の活動を支援する

森林ボランティアセンター設置事業	5,124千円
森林ボランティア活動推進事業	6,351千円
森林ボランティア活動活性化事業	(1,880)
森林ボランティア団体活動支援事業	(4,471)

○進捗状況

- ・森林ボランティアセンターは、県民の森内に6月1日オープン。ホームページによる情報提供、相談業務、森林整備機材の貸出等を行っている。今後もHPの充実や広報誌などにより森林づくりへの県民参画をサポートしていく。
- ・森林ボランティア活動活性化事業は、うつくしま21森林づくりネットワークに対し、4月28日補助金交付決定、7月10日及び9月14日に森林づくり推進連絡会議を開催した。また、11月18、19日に西会津町において森林づくり活動発表交流会を開催した。(延べ186名参加)。
- ・森林ボランティア団体活動支援事業は、4月24日から活動支援申請を受け付け開始。18団体(19件)に対し補助金4,471千円の交付決定をした。

7 もりの案内人等指導者養成事業

事業概要

もりの案内人を養成するため、審査委員会や養成講座を開催するとともに、森林環境やその指導方法に関する研修会及び森林整備ボランティア団体のリーダーを養成する

もりの案内人第2期養成事業	1,928千円
森林づくり指導者養成事業	1,310千円
森林環境学習指導者育成	(350)
森林ボランティアリーダー養成	(960)

○進捗状況

- ・もりの案内人（第2期）養成講座を6月16日に開講し、1月21日に第5期講座を終了。3月10日、26名に認定証を交付。平成9年からの累計認定者311名。
- ・森林環境学習指導者育成は7月1～2日 県民の森において実施済み。参加者43名。
- ・森林ボランティアリーダー育成講座を11月1日～30日の間に計8講座（延べ6日間）を実施した。研修終了者22名（参加者23名）。

8 みんなで育てる海辺の松林整備事業

事業概要

ふるさとの海岸松林を大切にす愛着心等を育むため、住民やボランティア団体との連携を図りながら、森林環境学習会及び荒廃した海岸沿いの保安林における作業体験を実施する

森林環境学習会及び作業体験（木柵整備、森林整備）5回 216m 事業費 1,858千円

○進捗状況

10月14日（相双）、10月15日（いわき）、10月28日（相双）、10月29日（いわき）
11月12日（いわき）実施。（事業完了）

9 県立学校における森林環境学習推進事業

事業概要

県立高校において、森林を守り育てる意識の醸成等を図るため、木炭づくりやサギソウの保全などの体験的な森林環境学習を実施する

木炭づくりによる環境学習実践（会津農林高）	2,060千円
サギソウの保全と増殖を通じた森林環境学習（岩瀬農高）	1,075千円

○進捗状況

会津農林高校 11月、炭窯完成。広葉樹林の間伐による炭材生産。事前学習（製炭、炭の効用）の実施
12月～1月、製炭
2月、地域への普及活動、研究のまとめ（事業完了）

岩瀬農業高校 4月、事業着手
フィールド活動5回（森林調査、水質調査と浄化の取組み、サギソウ苗の定植、種子採取、種子の無菌繁殖）
2月、学校内外における成果発表を実施（事業完了）

IV 森林文化の復興

10 ふくしまの森林文化復興事業

事業概要

ふくしまの森林文化を見直し、現代生活に活かしていくため、地域に根ざした森林文化を掘り起こし、データベースを作成して県民に分かりやすい形で公表する

事業費 3,423千円

○進捗状況

調査業務をシンクタンクふくしまに委託

検討委員会を3回（10月6日、11月17日、2月1日）開催し、森林文化の捉え方、情報収集の方法、森林文化の活用方法について協議しながら、市町村史等により基礎的な情報を幅広く収集した。

現在、収集した情報の整理、報告書の取りまとめを行っている。

V 森林環境の調査研究

11 森林整備効果実証事業

事業概要

森林整備による効果を実証するため、森林整備事業のモデル地域において、水環境の変化等を調査研究する

事業費 4,768千円

○進捗状況

業務を超学際的研究機構に委託

調査方法（量水試験、水質試験等）、調査地3箇所について決定

3月1, 2, 20日に、一部調査機器を設置し観測を開始する予定

12 ペレットストーブ研究開発事業

事業概要

木質バイオマスのエネルギー利用を推進するため、ペレットストーブの開発等を行う

事業費 3,277千円

○進捗状況

プラン公募の結果、2社の応募があった。

審査委員会を開催し業者を決定、7月4日(株)双テック(郡山市)と契約を締結した。

委託契約工期18. 7. 4~19. 3. 15

審査委員会開催経過：第1回 18. 6. 7 第2回 18. 11. 20 第3回 19. 2. 14

試作機が完成し、3月22日完了検査予定。

13 間伐材及び木炭を利用した水質浄化技術研究事業

事業概要

間伐材、木炭等の積極的な活用を推進するため、農業排水路における木工沈床等による土壌流出防止効果や木炭を活用した水質浄化について調査研究する

事業費 1,838千円

○進捗状況

研究計画を策定し、試験地を猪苗代町の水田排水路に決定。

7月から9月、排水路内に木炭浄化施設を設置し、水質分析を実施。

11月から3月、室内試験を実施し、木炭浄化施設の効果等について更に検討中。

VI 森林環境基金の運営

14 森林環境基金運営事業

事業概要

森林環境税に対する県民の理解を深めるため、全世帯へのパンフレット配布やホームページ等による広報、フォーラムの開催等を行う

森林環境税関連施策PR事業 事業費 5,295千円

森林の未来を考える懇談会運営事業 949千円

○進捗状況

- ・ 森林環境税のあらましと用途に関するチラシを作成、5～6月に市町村を通じ配布したほか、パンフレット（県民憲章、税と用途）やホームページによりPR。
- ・ 福島県林業祭及び県庁県民ホールにおいて、県内の名水(10種)を紹介しながら、森林環境基金事業をPR。
- ・ 第1回懇談会（6月30日開催）
森林環境交付金事業（地域提案重点枠）の審査方法を決定
- ・ 第2回懇談会（7月31日開催）
平成18年度森林環境交付金事業（地域提案重点枠）の審査を実施
- ・ 第3回懇談会（12月11日開催）
平成19年度森林環境交付金事業（地域提案重点枠）の審査を実施
- ・ 第4回懇談会（3月22～23日開催予定）
平成18年度事業の調査（現地調査を含む）
- ・ 森林環境フォーラム（3月22日開催予定）
講演や事例発表により、県民参画による新たな森林づくりについて理解を広める。

VII 市町村が行う森林づくりの推進

15 森林環境交付金事業

事業概要

県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫をこらした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付する

森林環境基本枠 全ての市町村が一定の取り組みを継続的に実施する 79,406千円

【対象分野】 県民参画の推進
森林の適正管理推進
森林環境学習の推進

地域提案重点枠 市町村の創意工夫による優れた提案事業 91,039千円

【対象分野】 森林整備の推進
県産間伐材の利活用推進
木質バイオマスの利活用推進
その他

○進捗状況

・森林環境基本枠

4/17付で予算配分（いわき市7,069千円～湯川村540千円 平均1,309千円）

（最終的な交付金額は79,406千円の見込み）

・地域提案重点枠（事業申請：51件、要望事業費：136,069千円）

7月31日開催の第2回森林の未来を考える懇談会において審査。

51件申請に対して42件（うち14事業は条件付き）が認められた。

県が細部の査定を行い、42件、94,518千円について採択した。

（最終的な交付金額は91,039千円の見込み）